

約束 12 伝統芸能、祭り、文化財保存などを応援する仕組みをつくり、芸文台設置」を推進します。

約束 11 「いとしま」夢、創造プロジェクト(ふるさと応援寄附による天文台設置)」を推進します。

約束 10 市民が主役のまちづくりを進めるため、「糸島市まちづくり基本条例」を制定し、市民税の1%相当額を使って、各校区のみちづくり(課題解決)を応援します。

地域づくり

行財政改革に関する施策を実現するために実施している2事業の進み具合は、どちらも初期段階で、これらの事業のうち、完了した事業はありません。

約束 9 4年間で36億円の効果をもたらし「前原市版 行財政改革」の原動力となった事業仕分け制度(事務事業評価システム)を、外部評価導入の検討を加えるなどさらに進ませ、4年間で50億円の歳出を削減します。その削減分を新たな行政サービスなどに充てます。

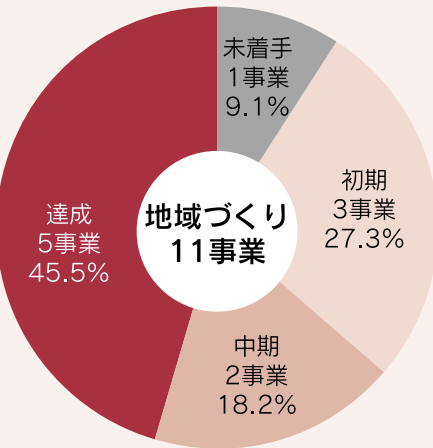
行財政改革

術活動、地域文化をたいせつにします。

約束 13 効率的で便利な「いとしまコミュニティバス」を運行します。

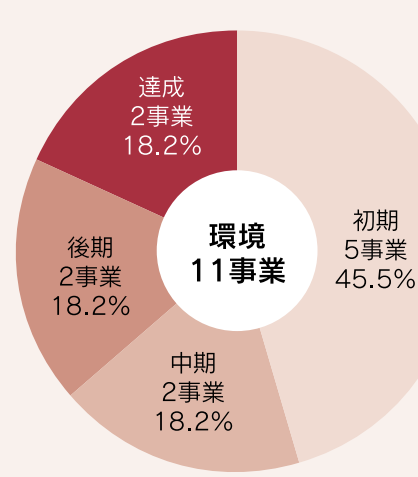
約束 14 市民提案型まちづくり助成制度、まちづくりボランティア登録制度を設け、日本一ボランティアが多い(人口比)まちをめざします。

約束 15 移動図書館車や庁舎活用などにより、糸島市全域で図書サービスを行います。



地域づくり分野の具体的な実施内容(目標を達成した事業)

事業名	事業概要	達成基準(目標)	平成22年度の実施内容 今後の継続予定内容など
いとしまコミュニティバスの効率的運行	効率的で便利な地域交通サービスの確立をめざし、地域交通計画を策定	地域交通計画に基づくバスの運行 達成基準の状況(平成22年度末) 実施済	●「糸島市地域交通計画」の素案策定後、パブリックコメントを実施。平成23年3月に計画決定 →今後は、「糸島市地域交通計画」に定める事業計画を着実に進める
市民提案型まちづくり助成制度の導入	市民、NPO、ボランティア団体からの提案によるまちづくり事業に助成	補助制度整備、市民提案型事業の実施による市民参画の拡大(6事業) 達成基準の状況(平成22年度末) 市民提案型事業を実施(12事業)	●公開プレゼンテーションを実施し、25団体中12団体に計286万8千円の補助を決定 ●補助団体の活動を広報でPRすることにより、市民のボランティア意識の醸成を図った →今後も継続して事業を実施し、さらなる市民のボランティア意識の醸成に役立てる
協働のまちづくりアクションプランの策定	糸島市協働のまちづくり推進条例に基づくアクションプランを策定し、協働事業を推進	アクションプランの策定 達成基準の状況(平成22年度末) 策定済	●各課などへ市民との協働事業を照会、情報を集約し、3月にアクションプランを策定 →平成23年度からは当該アクションプランに基づく事業(52事業)を各担当課が実施する
ボランティア登録制度の確立	市内のボランティア団体を把握し、参加希望者のコーディネートボランティア団体のPRを行う	ボランティア登録者制度の導入 達成基準の状況(平成22年度末) 導入済	●社会福祉協議会、NPOボランティアセンター、ボランティア派遣事務局に分散した情報を集約 ●ボランティア情報として一元化し、公表可能な団体をホームページに掲載(団体:121、個人:252) →今後、登録を随時更新、登録者を増やすような取組みを行うことにより、ボランティア日本一のまちをめざす
移動図書館車の巡回拡大事業	巡回貸し出しの範囲を市全域(保育園など)に拡大	巡回箇所拡大(10箇所⇒20箇所) 達成基準の状況(平成22年度末) 巡回箇所を20箇所に拡大	●平成22年4月から、保育園等20カ所を巡回 →今後も継続して事業を実施させ、図書館サービスを充実させる



環境に関する施策を実現するために実施している11事業の進み具合は、左のグラフのとおりです。

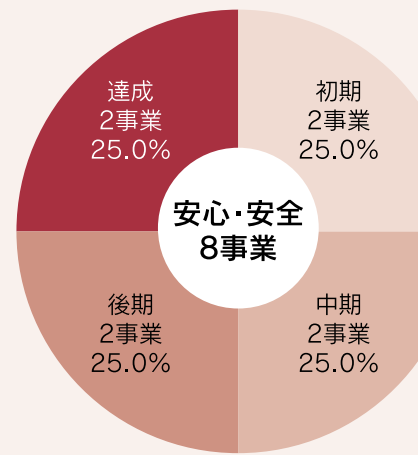
約束 7 市民のみなさんと一体となって、「森づくり」や「里の保全」活動、「海岸線の美化・保全」活動を推進します。

環境都市宣言を行い、バイオマスや水素エネルギーなどの活用による自然環境に負荷の少ないエコタウンをめざします。



環境分野の具体的な実施内容(目標を達成した事業)

事業名	事業概要	達成基準(目標)	平成22年度の実施内容 今後の継続予定内容など
「水素エネルギー製品研究試験センター」支援事業	センターへの職員派遣、PR活動、関連企業への誘致活動の実施	センターと連携した現地視察会の開催 達成基準の状況(平成22年度末) 現地視察会開催済	●勉強会・現地視察会実施、セミナーへの地場企業参加PR実施 ●広報いとしまや新聞にPR記事を掲載 →継続して、現地視察会や広報活動を実施
「海の日」漁港・海岸クリーンアップ事業	JF糸島組員、青壮年部、女性部による漁港海岸一斉清掃の推進	海岸清掃参加人数 800人 達成基準の状況(平成22年度末) 海岸清掃参加人数 2,630人	●「海の日」にJF糸島組員・女性部・青壮年部が一斉に清掃活動を行い、701人の参加者で、1,030袋を回収 ●「海の日」以外でも、各漁港で42回の清掃活動を実施。延べ1,929人が参加し、12tを回収 →今後も継続して事業を実施



安心・安全に関する施策を実現するために実施している8事業の進み具合は、左のグラフのとおりです。



約束 8 自然災害(地震、集中豪雨など)、感染症発生(新型インフルエンザなど)に対応する危機管理体制の充実、地域見守りネットワークの整備を早急に進めます。

安心・安全分野の具体的な実施内容(目標を達成した事業)

事業名	事業概要	達成基準(目標)	平成22年度の実施内容 今後の継続予定内容など
新型インフルエンザ対策行動計画の策定	行動計画を策定し、発生段階別の対策業務を決定	行動計画の策定 達成基準の状況(平成22年度末) 策定済	●平成22年4月に「糸島市新型インフルエンザ対策行動計画」を策定 →今後は、「糸島市新型インフルエンザ対策行動計画」に基づき対応する
地域見守りネットワーク・災害時要援護者支援計画の整備	「糸島市災害時要援護者支援計画」を策定し、対象者台帳の整備および個別支援プランを立て、実行する	計画策定、台帳整備、個別支援プラン策定(プラン策定数:2,031人⇒3,472人) 達成基準の状況(平成22年度末) 計画策定済、台帳整備済、個別支援プラン策定済(プラン策定数:2,031人⇒3,472人)	●関係各課によるワーキング会議を開催し、糸島市災害時要援護者支援計画(案)を策定 →高齢者世帯などを対象に個別訪問を実施し、支援が必要な人の台帳・個別支援プランを策定する